



2024年9月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年11月14日

上場会社名 株式会社Sapeet 上場取引所 東
 コード番号 269A URL http://sapeet.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 築山 英治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 佐藤 琢治 (TEL) 03 (6822) 3263
 定時株主総会開催予定日 2024年12月23日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2024年12月23日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期の業績 (2023年10月1日～2024年9月30日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期	634	50.8	△19	—	△28	—	△29	—
2023年9月期	421	40.4	△147	—	△147	—	△147	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年9月期	△23.66	—	—	△8.0	△3.0
2023年9月期	△132.67	—	—	△59.9	△35.1

(注) 2024年6月20付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行なわれたと仮定し、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期	452	167	37.1	120.73
2023年9月期	265	△252	—	△227.61

(参考) 自己資本 2024年9月期 167百万円 2023年9月期 △252百万円

(注) 2023年9月期の自己資本比率については自己資本がマイナスであるため記載しておりません。

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年9月期	△31	△99	195	220
2023年9月期	△177	△31	187	156

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	0.00	—
2024年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	0.00	—
2025年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	0.00	—

3. 2025年9月期の業績予想 (2024年10月1日～2025年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	924	45.5	80	—	67	—	66	—	42.83

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期	1,388,700株	2023年9月期	11,111株
② 期末自己株式数	2024年9月期	一株	2023年9月期	一株
③ 期中平均株式数	2024年9月期	1,227,904株	2023年9月期	11,111株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨ではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等は、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算説明資料の入手方法について）

当社は、2024年11月19日（火）に機関投資家及びアナリスト向け説明会（オンライン説明会）を開催する予定です。当日の説明資料については、TDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	9
(4) キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(持分法損益等)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

新型コロナウイルス感染症の影響も薄らぎ経済活動の正常化が進み、また各種政策の効果もあり、国内経済は緩やかに回復しております。一方で、世界的な金融引き締めに伴う影響や物価上昇などもあり国内外における経済的な見通しは不透明な状況が続いております。

当社を取り巻く環境としましては、企業のAI・DX（デジタルトランスフォーメーション）投資の拡大が当社サービスの追い風になることを期待しております。国内AIシステム市場においては2023年の4,930億円から2027年には1兆1,034億円への拡大が見込まれており（出典：IDC Japan 株式会社「2023年 国内AIシステム市場予測」）、国内DX市場の規模は2022年度に2兆7,277億円の見込みに対して、2030年度には6兆5,195億円への拡大が見込まれております（出典：株式会社富士キメラ総研「2023 デジタルトランスフォーメーション市場の将来展望 市場編、ベンチャー戦略編」）。

当社は「ひとを科学し、寄り添いをつくる」のミッションの下、AIソリューションにおいては既存取引先との継続的な取り組みや、各種アルゴリズムを用いた新規案件獲得に注力しております。また、AIプロダクトにおいては他社との差別化ツールや市場拡大が著しいDXツールとして「シセイカルテ」「マルチカルテ」を中心としたカルテイプロダクトの拡販を進めております。また全社としては、今後の成長に向けた先行投資を継続しており、AIプロダクトの開発、認知度向上のためのマーケティング、及び人材獲得等に注力いたしました。

これらの結果、当期における当社の経営成績は以下のとおりとなりました。

売上高については、AIソリューションにおける既存プロジェクトの進捗やコミュニケーションアルゴリズムを中心とした新規プロジェクト獲得、AIプロダクトにおけるメインプロダクトである「シセイカルテ」「マルチカルテ」のアカウント数の増加等により634,946千円（前年同期比50.8%増）となりました。AIソリューションにおいては生成AI技術を用いたコミュニケーションアルゴリズムの提案を、AIプロダクトにおいては「シセイカルテ」だけでなく「マルチカルテ」も合わせて積極的な拡販を行っており、両プロダクトの導入が期待できるフィットネス・パーソナルトレーニングといった業界に向けた積極的な営業活動をいたしました。

売上総利益については、売上高の増加及び当期よりソフトウェア資産を計上したこと等により382,375千円（前年同期比33.4%増）となりました。

販売費及び一般管理費については、2023年11月に実施した本社移転、事業拡大のための先行投資として研究開発や人材・マーケティングへの投資を行った結果、401,443千円（前年同期比7.6%減）となりました。なお、販売費及び一般管理費が前年同期比減少した理由としては、前年同期において研究開発費に計上されていたような費用の一部が、ソフトウェア資産として計上されるようになったことによるものであります。

営業利益以下の各段階利益について、主に先行投資の結果、営業損失は19,068千円（前年同期は147,761千円の営業損失）となり、加えて2024年4月に実施した第三者割当増資に伴う株式交付費及び東京証券取引所グロース市場への上場のための費用といったスポット的な営業外費用の計上等により、経常損失は28,542千円（同147,236千円の経常損失）、当期純損失は29,057千円（同147,415千円の当期純損失）となりました。各段階利益はいずれも赤字となりましたが、赤字幅は大幅に縮小いたしました。

なお、当社はExpert AI事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における資産合計は452,020千円となり、前事業年度末に比べ186,582千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が63,875千円増加したこと、事業拡大に伴い売掛債権が36,407千円増加したこと、ソフトウェアの資産計上開始によりソフトウェアが82,012千円増加したことによるものであります。

(負債)

当事業年度末における負債合計は284,268千円となり、前事業年度末に比べ234,072千円減少いたしました。これは主に、関係会社短期借入金を全額返済したことによるものであり、返済原資としては2024年4月に実施した第三者割当増資の資金の一部、短期借入金及び自己資金であります。

(純資産)

当事業年度末における純資産は167,752千円となり、前事業年度末に比べ420,654千円増加いたしました。これは主に、2024年4月に実施した第三者割当増資により資本金及び資本準備金がそれぞれ224,856千円増加したこと、当期純損失29,057千円によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は220,228千円となり、前事業年度末に比べ63,875千円増加いたしました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における営業活動による資金の減少は31,907千円となりました。主な減少要因は税引前当期純損失28,542千円、売上高の増加に伴う売上債権の増加36,407千円であり、主な増加要因は減価償却費9,005千円、仕入債務の増加9,729千円、未払消費税等の増加9,334千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における投資活動による資金の減少は99,664千円となりました。減少要因はソフトウェアの取得（自社開発）に伴う支出89,834千円、オフィスの移転に伴うインフラ整備及び業務で使用するPCの取得に伴う支出9,830千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における財務活動による資金の増加は195,448千円となりました。増加要因は株式の発行による収入447,788千円及び事業資金確保のための短期借入による収入200,000千円であり、主な減少要因は短期借入金の返済による支出450,000千円であります。

(4) 今後の見通し

2025年9月期につきましては、AIソリューションにおいては前期第3四半期以降の旺盛な需要が継続しており、これまでの当社実績をもとにした横展開や取引先の拡大、新たな領域への投資等により更なる拡大を目指してまいります。AIプロダクトにおいては、引続き「シセイカルテ」及び「マルチカルテ」を軸として拡大を進めてまいります。また、「カルティセールス」等の営業領域のプロダクトの拡販も進めてまいります。また全社においては、当社の成長原資となる人材投資及び開発投資は引続き積極的に進めてまいります。

その結果、2025年9月期の業績予想といたしましては、売上高924百万円（前年同期比45.5%）、営業利益80百万円（前年同期は△19百万円の営業損失）、経常利益67百万円（同△28百万円の経常損失）、当期純利益66百万円（前年同期は△29百万円の当期純損失）となり、先行投資を継続しつつも黒字転換を見込んでおります。

経営環境の動向を注視し、業績予想の修正が必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準は日本基準を適用しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当事業年度 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	156,352	220,228
売掛金	74,884	111,291
前渡金	3,060	1,387
前払費用	9,841	14,208
未収入金	2,943	-
その他	60	103
貸倒引当金	△13,457	△16,791
流動資産合計	233,684	330,428
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	6,650	11,690
減価償却累計額	-	△711
工具、器具及び備品	1,053	5,185
減価償却累計額	△1,053	△1,307
その他	-	438
有形固定資産合計	6,650	15,296
無形固定資産		
ソフトウェア	-	82,012
無形固定資産合計	-	82,012
投資その他の資産		
敷金	25,103	24,283
投資その他の資産合計	25,103	24,283
固定資産合計	31,753	121,592
資産合計	265,438	452,020
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,336	22,066
関係会社短期借入金	450,000	-
短期借入金	-	200,000
1年内返済予定の長期借入金	2,340	-
未払金	21,988	23,495
未払費用	7,373	5,285
未払法人税等	180	5,712
未払消費税等	5,410	14,745
契約負債	10,974	6,665
預り金	7,732	6,297
流動負債合計	518,340	284,268
負債合計	518,340	284,268

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当事業年度 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,000	232,856
資本剰余金		
資本準備金	7,498	232,354
資本剰余金合計	7,498	232,354
利益剰余金		
繰越利益剰余金	△268,483	△297,541
利益剰余金合計	△268,483	△297,541
株主資本合計	△252,985	167,669
新株予約権	83	83
純資産合計	△252,901	167,752
負債純資産合計	265,438	452,020

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
売上高		
売上高	356,438	527,246
関係会社売上高	64,725	107,700
売上高合計	421,163	634,946
売上原価	134,586	252,571
売上総利益	286,577	382,375
販売費及び一般管理費	434,338	401,443
営業損失(△)	△147,761	△19,068
営業外収益		
受取利息	1	30
解約違約金	3,820	-
雑収入	529	828
営業外収益合計	4,351	859
営業外費用		
支払利息	3,618	4,211
株式交付費	-	3,865
上場関連費用	-	2,000
為替差損	207	72
雑損失	-	184
営業外費用合計	3,826	10,334
経常損失(△)	△147,236	△28,542
税引前当期純損失(△)	△147,236	△28,542
法人税、住民税及び事業税	179	514
法人税等合計	179	514
当期純損失(△)	△147,415	△29,057

【売上原価明細書】

区分	注記 番号	前事業年度 (自2022年10月1日 至2023年9月30日)		当事業年度 (自2023年10月1日 至2024年9月30日)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
I 労務費		131,135	54.2	159,126	44.0
II 経費	※1	111,009	45.8	202,588	56.0
合計		242,145	100.0	361,715	100.0
他勘定振替高	※2	△107,558		△109,143	
売上原価		134,586		252,571	

(注) ※1 主な内訳は、次のとおりであります。

項目	前事業年度(千円)	当事業年度(千円)
外注費	90,379	161,961
通信費	16,959	19,064
地代家賃	3,670	13,050

※2 他勘定振替高の内容は、次のとおりであります。

項目	前事業年度(千円)	当事業年度(千円)
研究開発費	107,558	19,309
ソフトウェア	-	89,834
計	107,558	109,143

(原価計算の方法)

当社の原価計算は、個別原価計算による実際原価計算であります。

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自2022年10月1日 至2023年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本		
	資本金	資本剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計
当期首残高	8,000	7,498	7,498
当期変動額			
新株の発行			
当期純損失(△)	—	—	—
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	—	—	—
当期変動額合計	—	—	—
当期末残高	8,000	7,498	7,498

	株主資本			新株予約権	純資産合計
	利益剰余金		株主資本合計		
	その他利益剰余金	利益剰余金合計			
	繰越利益剰余金				
当期首残高	△121,067	△121,067	△105,569	—	△105,569
当期変動額					
新株の発行					
当期純損失(△)	△147,415	△147,415	△147,415	—	△147,415
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)				83	83
当期変動額合計	△147,415	△147,415	△147,415	83	△147,332
当期末残高	△268,483	△268,483	△252,985	83	△252,901

当事業年度(自2023年10月1日 至2024年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本		
	資本金	資本剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計
当期首残高	8,000	7,498	7,498
当期変動額			
新株の発行	224,856	224,856	224,856
当期純損失(△)	—	—	—
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	—	—	—
当期変動額合計	224,856	224,856	224,856
当期末残高	232,856	232,354	232,354

	株主資本			新株予約権	純資産合計
	利益剰余金		株主資本合計		
	その他利益剰余金	利益剰余金合計			
	繰越利益剰余金				
当期首残高	△268,483	△268,483	△252,985	83	△252,901
当期変動額					
新株の発行	—	—	449,712	—	449,712
当期純損失(△)	△29,057	△29,057	△29,057	—	△29,057
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)				—	—
当期変動額合計	△29,057	△29,057	420,654	—	420,654
当期末残高	△297,541	△297,541	167,669	83	167,752

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純損失 (△)	△147,236	△28,542
減価償却費	37	9,005
敷金償却	-	820
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,643	3,333
受取利息及び受取配当金	△1	△30
解約違約金	△3,820	-
支払利息	3,618	4,211
株式交付費	-	3,865
為替差損益 (△は益)	207	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△28,938	△36,407
前払費用の増減額 (△は増加)	△1,085	△4,088
前渡金の増減額 (△は増加)	273	1,672
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,622	9,729
未払金の増減額 (△は減少)	△513	△438
契約負債の増減額 (△は減少)	△11,154	△4,308
未払消費税等の増減額 (△は減少)	1,551	9,334
その他	4,463	4,948
小計	△177,331	△26,895
利息及び配当金の受取額	1	30
解約違約金の受取額	3,820	-
利息の支払額	△3,459	△4,863
法人税等の支払額	△179	△179
営業活動によるキャッシュ・フロー	△177,148	△31,907
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,650	△9,830
ソフトウェアの取得による支出	-	△89,834
敷金の差入による支出	△25,103	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31,753	△99,664
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	450,000	200,000
短期借入金の返済による支出	△260,000	△450,000
長期借入金の返済による支出	△2,860	△2,340
新株予約権の発行による収入	83	-
株式の発行による収入	-	447,788
財務活動によるキャッシュ・フロー	187,223	195,448
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△21,679	63,875
現金及び現金同等物の期首残高	178,031	156,352
現金及び現金同等物の期末残高	156,352	220,228

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前事業年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

当社の事業セグメントは、Expert AI事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

当事業年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

当社の事業セグメントは、Expert AI事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
1株当たり純資産額	△227.61円	120.73円
1株当たり当期純損失(△)	△132.67円	△23.66円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 2024年5月31日開催の取締役会決議により、2024年6月20日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額及び1株当たり当期純損失を算定しております。
3. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
1株当たり当期純損失(△)		
当期純損失(△)(千円)	△147,415	△29,057
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る当期純損失(△)(千円)	△147,415	△29,057
普通株式の期中平均株式数(株)	1,111,100	1,227,904
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	新株予約権1種類(新株予約権の数11,110個)	新株予約権1種類(新株予約権の数11,100個)

4. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度末 (2023年9月30日)	当事業年度末 (2024年9月30日)
純資産の部の合計額(千円)	△252,901	167,752
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	83	83
(うち新株予約権)(千円)	(83)	(83)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	△252,901	167,669
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	1,111,100	1,388,700

(重要な後発事象)

公募による新株式の発行

当社は、2024年10月29日付で東京証券取引所グロース市場に株式を上場いたしました。この上場にあたり、2024年9月24日及び2024年10月10日開催の取締役会において、新株式の発行を決議し、2024年10月28日に払込が完了しました。

- (1) 募集方法：一般募集（ブックビルディング方式による募集）
 - (2) 発行する株式の種類及び数：普通株式140,000株
 - (3) 発行価格：1株につき 1,500円（注）1
 - (4) 引受価額：1株につき 1,380円（注）2
 - (5) 資本組入額：1株につき 690円
 - (6) 発行価格の総額：210,000千円
 - (7) 引受価額の総額：193,200千円
 - (8) 資本組入額の総額：96,600千円
 - (9) 払込期日：2024年10月28日
 - (10) 資金使途：更なる事業拡大を図るための設備投資及び今後の財務戦略の柔軟性を確保するための借入金返済に充当する予定であります。
- （注）1. 一般募集はこの価格にて行いました。
2. この価額は当社が引受人より1株当たりの新株式払込金として受け取った金額であります。
なお、発行価格と引受価額との差額の総額は、引受人の手取金となります。

第三者割当増資による新株式の発行

当社は、2024年9月24日及び2024年10月10日開催の取締役会において、オーバーアロットメントによる売出しに関連して、SMB C日興証券株式会社を割当先とする第三者割当増資による新株式の発行を決議いたしました。

- (1) 募集方法：第三者割当（オーバーアロットメントによる売出しに係る発行）
- (2) 発行する株式の種類及び数：普通株式 48,400株（上限）
- (3) 割当価格：1株につき 1,380円
- (4) 資本組入額：1株につき 690円
- (5) 割当価格の総額：72,600千円（上限）
- (6) 資本組入額の総額：36,300千円（上限）
- (7) 割当先：SMB C日興証券株式会社
- (8) 払込期日：2024年11月27日
- (9) 資金使途：「公募による新株式の発行（10）資金使途」と同一であります。